【評価調書様式１】

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長　森脇　康仁 （　井上　尊詩　）	内線	4459 (4467)

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事　業　名	事 業 区 間	総事業費	１．７億円
		急傾斜地崩壊対策事業 久斗山(1)地区	美方郡新温泉町 久斗山	内用地補償費	－　億円

所　在　地	事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
美方郡　新温泉町　久斗山	Ｈ１９	Ｈ１９	Ｈ２２

事　業　目　的	事　業　内　容
○防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命、財産ならびに県道、河川等を保全する。	急傾斜地崩壊対策事業（防災工事） 擁壁工 Ｌ＝２６０ｍ 負担割合　国　：４５．０％ 県　：４５．０％ 地元：１０．０％

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 ○安全・安心	・久斗山(1)地区は、急傾斜地崩壊危険箇所である。 ・保全人家１６戸ならびに県道、（二）久斗川等の公共施設が集中している。 ・斜面全体は荒廃し、表層崩壊跡や数多くの転石が見受けられ、斜面崩壊の危険性は高い。
○快適性・ゆとり	・山村部を縁取る緑の斜面は、地域の豊かな景観環境を構成するものであり斜面崩壊防止工事による環境保全効果は高い。
○地域ニーズ	・斜面全体は荒廃し、表層崩壊跡や数多くの転石が見受けられることから、がけ周りの住民は不安を募らせており、地元から防災対策の早期要望が出ている。
(2)有効性・効率性 ○有効性	・保全人家１６戸に加えて迂回路のない県道（２路線）及び（二）久斗川等があることから事業効果が高い。
○効率性	・事業実施に向けた地元要望があり、町の協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・擁壁工の施工に当たっては、法面掘削を法裾の最小限に抑え、既存斜面の緑を残すことで環境保全に努める。
(4)優先性	・斜面全体は荒廃し、表層崩壊跡や数多くの転石が見受けられることから早急な対策が必要である。 ・斜面の崩壊により人命（人家１６戸）、迂回路の無い県道等に被害が生じる。